

田迎小に 一七四名入学

四月十日(木)田迎小学校に於いて入学式が行われた。現在田迎小学校は三十三学級で児童数一〇二一名以上の市内でも一、二番を争うマンモス校である。現在、プレハブ校舎が三校舎あり運動場もせまくなっている。

今年の新一年生は百七十四名が入学したとの事である。

入学式には、ご夫婦で出



席される方が目立った。また入学式にはKKTテレビから取材に来ていて、新入生はアナウンサーからのインタビューをこやかに受けていた。

子ども達は「給食がまちどろしい。」「早く勉強をやりたい。」「とかにこやかに答えていた。

現在、田迎小学校は分離問題をかかえているが、地元市議、江藤正行市議の話によると、今年の六月に分離問題の用地の件で調査費が上程されるとの事である。

いよいよ田迎小の分離校問題は、現実味を帯びて来た様である。

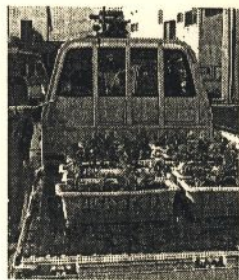
近頃、町内を回つてみると小さい子どもが多い事に気づく。田迎小はもつと児童数が増えるものと思われる。

分離校問題は急がねばならない問題である。

きれいな町 田迎の町

五月三日(土)午前九時より、出仲間公民館前の広場にて、町内の各道路端におかれていたプランターの花の植えかえが行われた。

当日は、よい天気に恵まれて、前田会長以下約三十名以上の会員が参加した。はじめに、道路に並べられたプランターをトラックにて集め、作業する出仲間公民館前に集められた。



古い枯れた花をプランターから抜いて、新しい花苗に植えかえる作業を額に汗を流して参加者は行った。

花は、サルビア、マリーゴールド等三種類である。植えかえられたプランターは、トラックに乗せられ、田迎の町の各個所に運ばれていった。

道路に並べられたプランターは夏の間、きれいな花を咲かせて、住民の方々と和ませてくれる事でしょう。作業は十一時ごろに終了した。

自転車競技大会 田迎二位入賞

四月十三日(日)熊本南地区交通安全協会と熊本南警察署の共同主催による高齢者交通安全自転車大会が田崎の山陽自動車学校で行われた。

参加者は南署管内の地元代表(七十才以上)三名ずつで約三十三名参加した。



競技方法は、実技とペーパーテスト(法規)である。実技とペーパーテストの結果の合計点の高い者が優勝となる。

田迎地区から一町内の西田陸雄氏、二町内の宮崎正弘氏、三町内の吉野元生氏の三名が参加した。

午後二時からテスト方法の説明のあと、大会は開始された。

はじめにペーパーテスト。次に一人ひとりが自転車に乗つての実技テストが行われた。参加者は真剣な眼差しで参加していた。信号を見落すもの、手信号を忘れるものも多数見かけられた。二時間程で大会は終了し、各個人の持ち点が合計されて順位が決められた。

その結果、田迎チームは団体の部で二位に入賞した。また、個人の部では、吉野元生氏が優勝された。

すばらしい成績であった事は、田迎の地名を参加者に知れわたせた様である。

田迎の史跡めぐり

シリーズ7

田迎神社寛文古文書

甲佐神社から分霊勧請されたと伝えられる田迎神社は、神八井耳玉の命を主神として六神が祀られ、明治初年に田迎神社となるまでは、阿蘇甲佐大明神と呼称されていた。田迎神社の宮座大祭は十月十七日と定められ、四方、小路、折口、砂入、出端の五組から輪番に担当を務め、宮司、氏子総代とともに祭りを主催する。当日は冷水組を含む各組から、海の幸、山の幸、里の幸を三宝に盛り神前に供える。宮司



により祝詞奏上、剣の舞い、玉串奉奠などの神事後、各組の座元に帰って祝宴に移り、最後に各組の振当渡しを終え、お開きとなる。

以上の様な神前供物や宮座祝宴の料理献立など詳細に定められた古文書が遺されている。

それは寛文八年(一六六八)に時の村庄屋田次郎左衛門尉頼元(後に田迎手永惣庄屋となる)が書いた「神前入り目覚書」(宮座献立)の覚え書き文書であるが、現代では理解に苦しむ物品が多く、今では現代風の料理に変わっている。

(たむかえ散歩より)

「田迎校区まちづくり」ホームページ開設のご案内

まちづくり委員会(会長前田昇一氏)田迎校自治協議会(西田耕造氏)では、「田迎校区まちづくり」ホームページを開設しました。

さて、校区では、ITを活用した情報の共有化をおこない「安全で安心して暮らせる住みよいまちづくり」を目的とした「田迎校区まちづくり」のホームページを平成二十年三月二十六日から開設し、田迎校区内のまちづくりに関するさまざまな情報を発信することになりました。

する有意義な情報等がありましたら、どしどし、ご利用下さいませますよう、お願い致します。

なお、インターネットアドレスも取得しておりますので、お問い合わせ等にご利用下さい。

URL <http://www1.ocn.ne.jp/~tamukae/>
E-Mail tamukae-53s-reisui@arrow.ocn.ne.jp

編集後記

○ゴールデンウィークの疲れ、残っていませんか。五月六月、気を入れて乗り切りましょう。

○四月、五月は各種団体の総会の花ざかり、その内容等をお知らせしました。○いよいよ、雨が多くなる時期が近くなりました。健康には充分に注意しましょう。